

魂を記す無限の書棚

- シナリオ制作 : 友野詳
- プレイ時間目安 : 4時間
- シナリオレベル : 30

シナリオ概要

この20年、ずっと閉店セールを続けている古本屋があるという。

その古本屋には、無限とも思えるような書庫があり、やってきた客の生涯を描いた本があり、それを使うと過去を変更できるという。

無限の書棚を持つ古本屋の、永遠の閉店セールは、何かの条件が満たされれば終わる。

それがいつになるのかは、誰にもわからない。

黒髪の美女とも、白髪の老人とも噂される、店主にもわからないだろう。

だから、一刻も早く、店を見つけなければいけない……。

という都市伝説が、ささやかれています。むろん、ただの噂ではなく、背後には真実が存在しているのです。それはゴーストが作り上げた、特殊空間でした。

噂に惹かれて、その古本屋を見つけてしまった犠牲者は、自分の過去を描いた書籍を見つけます。その本には、過去を書き換えるペンが付属しています。ただし、インクは、書き手の寿命です。誘惑に負けて、過去を完璧に

書き換えれば、寿命が尽きて、死んでしまいます。ちょっと書きこんだだけでも激しく老化してしまうでしょう。

今回、PCたちは、この古本屋を見つけて、店主である地縛霊〈古本の魔〉を滅ぼさねばなりません。

ただし、この店主を倒すには、ある条件を満たして、閉店セールを終わらせねばならないのです。その条件とは「店主の生涯を描いた本を見つけて、売ってしまう（つまりPCが買い取る）こと」です。買い取るには、金銭ではなく、他の「面白い本」と交換しなければなりません。そして「面白い本」は、PCの過去を書いた本、ということになるでしょう。

このシナリオは20レベルで作成したでのPC3～5人用にデザインされています。シナリオ内容の都合上、PCは全員、読書が好きという設定にすると進めやすいでしょう。

また、このシナリオをプレイするにはサブリメント『幽世奇談』に収録されたオートシナリオ、および『エンドレスデイズ』の学園リードカード(エレメントシステム)が必要です。

オープニング・チャプター 今回の運命予報

放課後、能力者たちは、いつものように教室に集められます。演じやすい運命予報士を選び、以下の情報を伝えてください。

「この20年、ずっと閉店セールを続けている古本屋があり、そこは無限に続くような書棚が続いている。書棚を調べると、全員、自分の生涯を書いた本を見つけられる。店主（白髪の老人だとも黒髪の美女だともいう）に頼めば、中身を書き換えられる。本を書き換えると人生も変わる。……という噂がある」

「この古本屋は存在する。実際に過去を書き換えられるかは定かでない。入った者は、みな戻ってきていない。店主は地縛霊であり、客を餌食にしている」

「店主であるゴーストを倒すには、店内に入って、その本を使った何かの条件を満たす必要がある。閉店セールを終わらせる方法を探せばよいようだ。セールを終わらせないと、どれだけダメージを与えても倒せない」

「店の場所は、古本マニアなどから手がかりを得て欲しい。場所を探す過程で、予備的な情報は入手できるはず。後は、直接、店に乗りこんだほうがいい。店に入るには、本を五百冊以上読んでいる必要があるけれど、ここにいるメンバーは大丈夫なはず」

「この事件を解決するためには、きみたちがつむいできた、過去の物語が大事になるようだ……（ここでGMから「オートシナリオ」を使うところがあるよ、と予告しておいてもいいかもしれません）」

チャプター1 古本屋を見つける

場所 : どこでも

時間 : いつでも

チャプター終了条件例 : 古本屋の住所を突き止めるまで

PCが、適切な方法で調査を行えば、以下の情報が手に入ります。

情報源としては「古書マニア」「近所の古書店主」「ネットの古書サイト」などが考えられます。セッション時間

を短くすませるなら、段階判定で一度に複数の情報を与えてもいいでしょう。その場合、次頁に書かれている順に、情報を伝えてください。

▼無限の書棚といえば、かつて存在した、バベル堂（もちろんボルヘスの「バベルの図書館」から命名）という高名な古書店の通称。経営していたのは墨沢文人（すみざわ・ふみと）という50歳すぎの白髪男性。彼には20歳以上も年下の、美しい妻、綾子（あやこ）がいた。

▼バベル堂は、地上はそれほど大きくない古書店で、二階が居住部。しかし、地下には非常に大きな書庫があり、店主に「～～（珍しい本の書名）を探している」といえば、入れてもらえた。

▼しかし店は火事にあい、地下書庫の本を救おうと、妻は死亡した。火事の原因は漏電で、古い建物だったので不審なところはない。その後、夫は、妻の思い出を文章にして、自費出版したが、まったく売れなかった。本のタイトルは『我が美しき妻の思い出』という。

▼古書の多くは無事だったので、墨沢は店を再建した。しかし、時代はバブル末期で、結局、地上げにあった。夫は行方不明。蔵書は全て人に譲ったが、妻のことを書いた自費出版の本を一冊だけは残したらしい。「この本さえ売れば、私は……」と言い残していたという。

▼店の住所は、当時の保谷市、現在の西東京市の一角。閑静な住宅地。

▼ここからは確認されていない噂だが、いまだにときおり、昔ながらの顧客にカタログが届くという。店の在りかは、昔と同じ。通信販売はなく、直接、取りにゆかねばならないらしい。

CHAPTER 2 バベル堂への潜入

場所： 古本屋

時間： いつでも

CHAPTER 2 終了条件例： バベル堂に入り込むまで

住所を得れば、訪ねてゆけます。バベル堂があった場所は、いまは月ぎめの駐車場になっています。

隣は創業100年の和菓子屋さんで、営業時間は朝九時から夜の10時までになります。他にも近所で聞きこみが行えます。

GMは、適切な判定を行なわせてください。成功すれば、以下のことがわかります。

▼あの駐車場を、夜中に訪れると、たまに店の匂が見えると近所の噂。読書量の多い者か、珍しい本を手に見ると見えるらしい。

▼駅前の新刊書店の店主、田野安大樹（たのやす・だい）は、バベル堂の店主である墨沢文人の学生時代の後輩で、仲がよかった。

おそらくPCたちは、田野安書店に聞きこみに向かうでしょう。しかし、店主（60歳）は出かけています。店番をしている彼の娘（20代なかば、眼鏡をかけ、地味な印象だけれどけっこう美人）に尋ねると、以下のよう

▼ありえないはずのカタログが届いたので、確かめるといって出かけた。中身は持って行ったが、封筒だけはそのへんにはあるはず。

▼墨沢さんは、旅先で亡くなったと聞いている。

封筒を確認させてもらえば、それがバベル堂から送られていること、消印がないこと、まだ真新しいことがわかります。能力者が手を触れると、これが「この世のものではない物質＝詠唱銀」でできていると直感します。10レベルのアクセサリ相当として、PCに与えてもかまいません。

GMは、田野安書店ではなく、適当な古書ファンを設定して、そこから同様の情報を手に入れたり、封筒を与えてもかまいません。

いくら待っていても田野安さんが戻ってくることはありません。

CHAPTER 3 バベル堂

場所： バベル堂

時間： いつでも

CHAPTER終了条件例： 全員が地下書庫に入るまで

バベル堂は、封筒を手にしていくか、探した珍本を持っていくか、あるいはPC自身の蔵書が一万冊を超えるか年間読書量が三百冊以上といった条件を満たしていれば、午後11時以降になると、PCたちの前に出現します。昼間に情報を得ていた場合、GMが望むなら、珍しい本を持ってくるなどの条件を満たすことで出現するとしてもいいでしょう。蔵書数や読書量は、PCの自己申告によります。読書好きという設定なら、あらわれます。見た目は、ごく平凡な古書店です。ショーウィンドウに、古地図や浮世絵、和綴の古書、十九世紀の彩色印刷本などが飾られており、すりガラスの戸を開けると、本棚がずらりと並んでいます。

狭い店の奥にレジがあり、店主が座っています。店主の姿は、年老いた白髪の男性と、長い黒髪の美女が交互に見える、奇怪な状態です。存在するだけで、相当なプレッシャーが伝わってきます。見るだけで、レベルは100程度だとわかります。この段階で戦うのは無謀です。逃げようとしても、もう外には出られません。

店主が戦いを挑んでくるようすはありません。閉店セールを終わらせる手段を探すべきだと示唆してください。そのためには、地下の書庫を調べる必要があります。PCが、墨沢氏の書いた本『我が美しき妻の思い出』

を探すなら、それはレジ横に置かれています。これが欲しいと告げると「普通のお金ではお売りできないんですよ」とだけ応じます。どうすれば売ってくれますかと尋ねても「まあ、古書店主の欲しがりそうなものを考えてください」としか応じません（正解を言い当てれば少なくとも大丈夫でしょう）。

PCが迷っていれば、田野安さんの姿が見あたらないこと、地下書庫へ向かったであろうことを示唆してください。

レジの反対側に、居住部へ通じる階段があります。上がろうとしても止められず、がらんとした居間と台所、寝室などが見つかるだけです。

レジの奥に、扉があります。地下へのものです。地下に行くには、店主の許可を得る必要があります。ここで「店主に『～～（珍しい本の書名）を探している』といえば、入れてもらえた」という情報を思いだしてもらいましょう。

プレイヤー自身が、何か「それは珍しいところいった店主が感心しそうな本のタイトル」を思いつくのがベストです。GMは、やりとりをうまく楽しんでください。それが無理なら、適当に判定かチェックを行なわせてください。

CHAPTER 4 地下書庫

場所： バベル堂

時間： いつでも

CHAPTER終了条件例： 全員が地下書庫に入るまで閉店条件を見つけるまで

PCたちが地下倉庫に入ると、一番手前に新しい本棚が出現します。

じつは、新しい客が店に入ると、その客がかつて読んだことのある本が全て、その記憶から再生され、店の蔵書が増えるのです。蔵書が増えるほど、敵はレベルが高くなるのです。また、このどこかには、PCたちの「これまでの生涯」を書いた本もあるはずですよ。

ここですべきは「どうすれば閉店セールを終わらせ、閉店に持ちこめるか」を調べることです。

その情報は、先に書庫に入っている田野安さんから得られるでしょう（もちろんGMは、他の手段を用意してもかまいません）。PCは書庫をさまよい、田野安氏を探さなきゃなりません。

ゴーストタウンとして作成してもいいし、リードカードからGTイベントなどを起こしてもいいでしょう（せっかくなので『幽世奇談』のイベント拡張を使ってみてください）。ゴーストが出現する場合、後述の、ジャイア

ントブックワームかペーパークラフトガールのデータを使ってください。シルバーレインRPGをはじめて遊ぶなら、ここで戦闘の練習をしておきましょう。

ただし、本を読んでいる限り、あらわれたゴーストは、襲いかかってきません。田野安氏らが無事なのは、そのせいです。

PCが地下書庫を探索すると、生きている田野安氏か、他の犠牲者の死体を発見します。どちらを先に見つけるかは、状況からGMが判断してください。

他の犠牲者の死体

通路に、ほぼミイラ化した女性の死体を見つけます。左手に一冊の本を、右手に赤いペンを握っています。しわくちゃで百歳くらいの老女に見えます。しかし、着ているのはブランドもののスーツで、バッグなども最高級の品です。持ち物を調べると、バッグから免許証が見つ

かります。彼女の名は、堀部瑠依で、まだ28歳です。

手にした本を調べると、封筒と同じものでできています（レベル10のアクセサリ相当）。タイトルは『堀部瑠依の一生』となっており、人生の失敗、失恋などが赤字で書き換えられています。そして、ブランドもので身を固め、成功した彼女は、バベル堂を見つけ、先の失敗した人生を書き換えさせてもらおうと地下書庫に下りるところで、本は終わっています。

田野安氏からの情報

田野安氏は、まだ「自分の生涯の本」を見つけていません。素晴らしい稀覯本の山に我を忘れて読みふけています。子供のころに夢中になった本、などというのでもいいでしょう。

彼の邪魔をすると、近くの書籍から、ジャイアントブックワームが飛びだしてきて、PCに襲いかかります。本を読んでいる田野安氏は無視します。

うまく話しかけたなら、この戦闘は省略してもかまいません。

田野安氏と会話できれば、以下の情報を得ます。「墨沢先輩は、自分の書いた本（妻の思い出を中心にした自伝）が1冊でも売れたら、店を閉めると言っていた。閉められては困るので、店の常連みんなで結託して買わないようにしていたんだ」「先輩は、最後はせっかく刷った『我が美しき妻の思い出』のほとんどを捨ててしまっただけ。残り1冊なんだから、この世に1冊だけの本と交換しなせよ、と言っている。

た。もちろん、面白くないとダメらしい。先輩は、日記や自伝が好きだったな」

返事を終わると、田野安氏は、本を読みはじめてしまっています。読んでいる限り、ゴーストに襲われることはありません。

両者からの情報がそろえば、以下のことがわかります。プレイヤーが推理できなかった場合、もしくは推理しても確信が持てなかった場合、判定してGMから告げてください。

- ・犠牲者は、自分の本を見つけ、それを書き換えるペンを与えられる。書き換えるほど、寿命が削れて、やりすぎると死に至る。
- ・閉店セールを終わらせるには、PCが、この世に1冊だけの面白い本を見つけ『我が美しき妻の思い出』と交換する必要がある。

後者については、PCは別的手段を思いつくかもしれませんが、この無限の本棚には「誰かの生涯を書いた本」以外は、必ず2冊以上存在します（販売用と店主のコレクション用です）。そして、田野安氏以外の本は、書きこみで台無しになっています。田野安氏の生涯は平凡で、そして店主はすでに大半を知っています。

PCの人生を描いた本が、最適でしょう。これまで、常識を越えたさまざまな事件を解決しているからです。

CHAPTER 5 本の内容と、交換、そして決戦へ

場所：バベル堂

時間：いつでも

CHAPTER 5 終了条件例：閉店条件を満たすまで

書棚を探せば、PCたちの本は見つかります。セッション時間に余裕があれば、GTイベントでフラグを三つ集めれば発見できるとしましょう。

特にGMが定めない限り、見つかった本には、かつてPC全員がかかわった事件についても書かれています。そのエピソードを、オートシナリオを利用して作ります。そして、店主が面白がって本の交換に応じてくれるかどうかは、エレメントシステムを利用します。

オートシナリオを使用して、事件を作ってゆきます。オープニング、アドベンチャーを3チャプター、エンディングと五つのチャプターで構成します。戦闘は省略し、各チャプターごとに一回の判定を行ないます。

判定ごとにエレメントチェックを行なってください（メイン判定者が二枚、アシストが一枚です）。得られるのは「面白さエレメント」です。あるいは「主人公エレメント」と呼んでもいいでしょう。

エンディングでは、判定を行なう必要はありません。

プレイヤー全員が、一度ずつエレメントチェックを行ないます。

それ以外にも、物語の展開について面白いアイデアを出したプレイヤーに、ボーナスとして、エレメントチェックを行なわせてかまいません。

この時、PCの一人が、寿命を10年削ると宣言すれば、本に書きこみをして内容を改変できます。オートシナリオの引きを修正したり、あるいは、エレメントチェックを1枚余分に行なえます。

物語を完成させたら、地上に戻って、アタックチャンスを行ないます。成功すれば、店主は、本の交換に応じてくれます。この時、最もたくさんアタックチャンスを成功させたプレイヤーが、作り上げたエピソードの「主人公だった」ことになります。

参考例)

SNEでのテストプレイで作られた物語を紹介しておきましょう。

PCのひとり〈あげ玉ボンバー〉富岡ミケコ(中二)の故郷である、鳥取県の山村が、ダムの底に沈むことになった。そこに、リビングデッドが出現するという運命予報が下される。身長170センチの小学六年女子の井口あかね、小学4年女子なのに「みらいちゃんハアハア」を公言する田辺家鴨(プレイヤーは田辺ではありませんが田辺だということにしています、ヒドイ話や)、まとめ役を強要される高校二年男子の野上友大とともに、故郷へ向かうミケコ。

そこで彼女たちが出会ったのは、ミケコの恩師である若い分校教師、高橋琴音と、若き村の駐在である上田健人。幼馴染で恋人未満の二人は、村が沈むと、それぞれ遠隔地への転勤が決まっていて、離れ離れになる運命だった。

しかし、いまだ村人に犠牲者は出ていない。いくどか不審な事件は起きたが、襲われた者はみな逃げ延びていた。

探索を進めるうち、琴音か健人のどちらかがリビングデッドだと考える、銀警館の能力者たち。しかし、恩師たちを疑えないミケコは、仲間たちと喧嘩してしまう。

調査が進むうち、かつて、小学校が火事になったことがあり、その時、琴音と健人は、一時的に行方不明になっていたことがわかる。

彼らが死んだとすれば、その時だ。

そして、本人は気がついていなかったのだが、その火事の原因は、ミケコだったのだ(意外なおチ表「じつはPCが犯人」)による。プレイヤーの安道くんは、十年の寿命を費やして、この過去を書き換えました。でも、ゴーストを倒せば戻っちゃうんだよねー。

琴音と健人は、村が沈む前夜、小学校の跡地に向かう。そこに埋めたタイムカプセルを掘り出し、誓いの指輪(夜の店の安物だけど二人には宝石にもまさる)を取り戻すためだ。

その現場に駆けつける能力者たち。彼らは、琴音がリビングデッドだということを突き止めていた。そして健人が、彼女に罪を犯させないために活動していたことも。

別れ別れになる前に、彼女を自分の手で……と考えていた健人。けれど、それは能力者の役目だ。

「ごめんなさい」

と泣きながら、ミケコは、恩師のリビングデッドを滅ぼしたのだった。

クライマックス戦闘

閉店条件を満たすと、墨沢文人のゴーストは、このバベル堂を閉めると宣言します。

しかし、直後に、死んだ妻と人格が入れ替わります。彼女は「いやよ、私はずっと文人さんとお店を続けるの!」と叫び、PCを排除しようと襲いかかっています。

決戦になります。3体ずつ2列のゴーストウォールが出現しますが、アタックチャンスでの成功1枚につき1体、ゴーストウォールが減少します(前列、後列が交互に減っていきます)。

ボスである〈古本の魔〉は、100レベルから40レベルに減少した状態で出現します。40レベルでは、PCの勝ち目は薄い強敵です。適正な30レベルになるには、ある行動をとる必要があります。ボスのデータを参照してください。セッション時間の残りや、プレイヤーの熟練度によっては、最初から30レベルでもかまいません。

エンディング

ボスを倒せば、バベル堂は崩壊して、消滅します。PCたちは、気がつけば、夜明けの駐車場に立っています。そして、どうしても欲しいと思っていた本を1冊ずつ、手にしています(これは20レベルのアクセサリとして扱います)。田野安さんは、駐車場の片隅で気絶しています。PCの手もとには、封筒、そして『我が美しき妻の思い出』(持ってきているなら赤ペンと『堀部瑠依の一生』も)が残っています。それらをどう扱うかは、彼らの判断次第でしょう。

敵データ

レベル: 20	ジャイアントブックワーム		
分類: 妖獣	サイズ: 普通 (1.3m ~ 2.5m)		
達成値	気魄 6	術式 5	神秘 4
攻撃力	気攻 40	術攻 30	神攻 20
ステータス	HP 124	チェック 1	Ini 12
攻撃方法			
1: かじりつく	《気魄》6	近接	40 ダメージ
2: 丸かじり・改	《気魄》7	近接+追撃	50 ダメージ
3: 本喰らい・奥義	《神秘》-	自分+気攻アップ	30回復

巨大な紙魚の妖獣です。あらゆる本の隙間から這い込んできては、本好きの人間を襲います。GWの前列になります。

レベル: 20	ペーパークラフトガール		
分類: リリス	サイズ: 普通 (1.3m ~ 2.5m)		
達成値	気魄 4	術式 5	神秘 6
攻撃力	気攻 20	術攻 30	神攻 50
ステータス	HP 80	チェック 1	Ini 19
攻撃方法			
1: 私を読んで	《神秘》6	近接+窒息	20 ダメージ
2: 深いところまで読んで・改	《神秘》7	20m 1体	60 ダメージ
3: ページ補修・奥義	《気魄》-	自分+神攻アップ	30回復

本が展開して巨大な紙になり、それが複雑に折り畳まれて、セクシーな少女の姿になった、リリスの一種です。読書好きの男性に「私を読んで」と迫り、そこに書かれたみだらな描写に興奮する心や、残酷な表現におののく恐怖を、彼女の蛇の牙を通じて吸い上げ、ペしゃんこになったところを自分の1ページにしてしまいます。

レベル: 30	〈古本の魔〉(大ボス)		
分類: 地縛霊	サイズ: 普通 (1.3m ~ 2.5m)		
達成値	気魄 7+2 枚	術式 9+2 枚	神秘 6+2 枚
攻撃力	気攻 50	術攻 110	神攻 40
ステータス	HP 550	チェック 3	Ini 35
攻撃方法			
1: 目を奪われる	《術式》9	20m 爆発+暗闇	110 ダメージ
2: 読みふける・改	《術式》10	近接全周+足止め	120 ダメージ
3: ページ混舞・競	《術式》11	20m 全周+窒息(幸運度回避)	120 ダメージ

レベル: 40	〈古本の魔〉(大ボス)		
分類: 地縛霊	サイズ: 普通 (1.3m ~ 2.5m)		
達成値	気魄 9+2 枚	術式 11+2 枚	神秘 7+2 枚
攻撃力	気攻 70	術攻 140	神攻 60
ステータス	HP 700	チェック 3	Ini 50
攻撃方法			
1: 目を奪われる	《術式》11	20m 視界内+暗闇	140 ダメージ
2: 読みふける・改	《術式》12	近接全周+超足止め	150 ダメージ
3: ページ混舞・競	《術式》13	20m 全周+窒息(幸運度回避)	140 ダメージ

レベル: 100	〈古本の魔〉(大ボス)		
分類: 地縛霊	サイズ: 普通 (1.3m ~ 2.5m)		
達成値	気魄 15+2 枚	術式 19+2 枚	神秘 14+2 枚
攻撃力	気攻 250	術攻 350	神攻 200
ステータス	HP 1560	チェック 3	Ini 100
攻撃方法			
1: 目を奪われる	《術式》19	20m 視界内+超暗闇+沈黙	350 ダメージ
2: 読みふける・改	《術式》20	近接全周+超足止め+超呆然	360 ダメージ
3: ページ混舞・競	《術式》21	20m 全周+超窒息(幸運度回避)	350 ダメージ

古書店主の地縛霊です。今回は、長い黒髪に白いドレスをまとった鬼女の姿をしています。周囲を無数の本が飛び回っており、命令一下、敵に襲いかかってきます。

当初は、レベル 40 で戦闘を開始します。古書店の棚にある本が、次々に飛びだしてきて、戦力になります。

これらの本を破壊、もしくは購入して、ボスのレベルを減らせます。戦闘開始時に、プレイヤーに教えてください。破壊、購入は、それだけで一回の行動になります。行なうたびに、決まった枚数のリードカードの山札をめくりまわります。めくったカードパワーの合計が 10 以上になると、レベルは 30 に落ちます。レベル 30 以下にはなりません。小刻みには落ちず、一気に 40 から 30 になります。

破壊は、ダメージを与えるアビリティを、目標値 0 で使用します。リードカードの山札を 2 枚、めくりまわります。

購入を行うには、種別は自由でチェック 1 枚を行います。PC の裕福度次第で、めくる枚数が異なります。普通以下で 1 枚、裕福で 3 枚、大富豪なら 4 枚、めくれます。

また、PC が「自分の本」を書き換えるために赤ペンを使っていた場合(つまり寿命を削っていた場合)、書き換え一回ごとに、ランダムに決めたバッドステータス(BS 病いを利用)を一つ得た状態で、戦闘を開始します。